

現地探訪を行い、道のつながりを自分たちの目で確認している岡さん(写真左)と研究会メンバー



「この地図で道をつなぎ、人をつなぎ、歴史をつなぎたいんです」と話すのは岩国怪談探訪地図を発行した岡有美子さんです。

今から10年前は仕事と家庭の両立に苦勞していた岡さん。特に子供から目が離せない時期は毎日、仕事と子育てに追われる内に1日が過ぎ去っていくと感じていました。

そうした日々の中で、江戸時代から伝わる岩国の怪談録をまとめた岩国怪談録の存在を知り、「いつかこの岩国怪談録を使って町おこしいたい」との思いを持ち続けていたと言います。子供が中学生になり、子育てにも余裕ができた岡さんは文語体で書かれた岩国怪談録をひもとき、書いてある内容を理解するため、時間を見つけて現代語訳を進めました。

そんなある日、岩国往来散策マップを眺めていたところ「岩国怪談録に出てくる地域の怪談話を散りばめた地図を作ってみたら面白いのでは?」と思い立ちます。

岡さんは早速、現地を訪れ地域の人から話を聞き地図を作っていきます。

現地で話を聞くと「今しか見ることができない景観

であつたり、今しか聞けない話がたくさんあつたりします。そこに住む人の生活や歴史は今を逃すと、2度と見たり聞いたりできないかもしれない。それが私を動かす原動力になっていきます」と話します。その強い思いから岡さんは毎週仲間とともに現地を訪れました。

苦勞の末、2021年9月、岩国怪談探訪地図横山編が完成し、22年8月には錦清流編が完成しました。「この地図を完成させることができたのは、多くの方々の協力のおかげです」と岡さんは感謝の気持ちを語ります。

「今後も第3弾、第4弾の発行に向けて、仲間とともにまだ訪れていない地域を調査し、地図にまとめていきたいと思っています。この地図を見た人が風化しつつある岩国の歴史や逸話を知り、未来につないでほしい」と地図に思いを託します。



漫画家漆原友紀さんがイラストを手掛けた横山編(写真左)、錦清流編(写真右)



プライベートで親交のある人達が集まり設立した岩国物の怪地図研究会のメンバー



もの
の怪に導かれて

過去と未来をつなぐ

Vol.160

岡 有美子さん
(岩国在住)

2020年12月、仲間とともに、岩国物の怪地図研究会を設立し代表を務める。文献を基に現地を探訪し、岩国怪談探訪地図を発行している。趣味は料理、ソーイング。

